

県北健康福祉センター 感染症情報

平成30(2018)年6月号



夏の生活と感染症



正しく知って元気に過ごそう

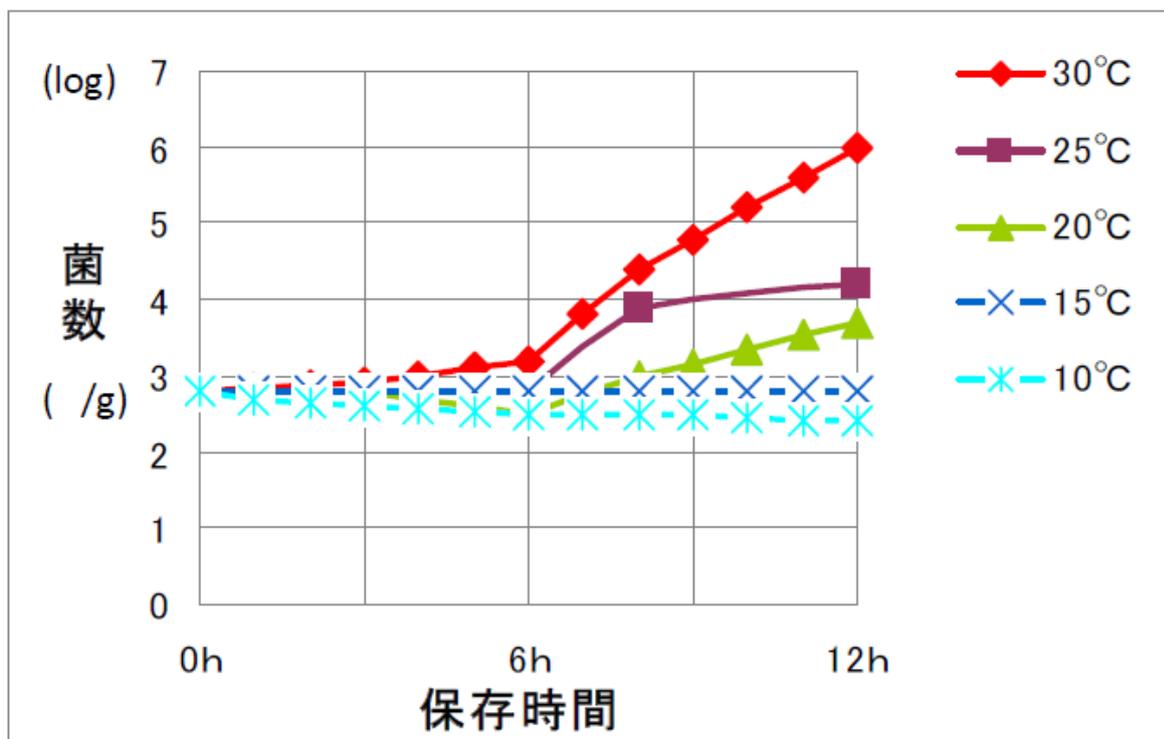
1 食品を介した感染症を防ごう！

- 加熱調理では、細菌を完全にゼロにすることはできません。
- 細菌*を「つけない」「ふやさない」「やっつける」の3原則で、健康を守ろう！
*食品に含まれていたり、付着していたりすることがあります。加熱や消毒で、減らしましょう。

細菌の増殖は、温度と時間に大きく影響されます。

実験：卵焼きの中のサルモネラ菌の増殖

(10℃では増殖が見られず、30℃では3時間以降に増殖が認められる。)



引用元：独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校給食衛生管理基準の解説—学校給食における食中毒防止の手引—



裏面に続く

2 プールの塩素消毒を徹底しよう！水遊びの後は手を洗おう！

- 特に集団生活においては、小規模（簡易）プールについても、塩素濃度の管理をしっかりと行ってください。
- 水辺の生き物とのふれあい、水遊びのあとも、しっかり手を洗おう！



注意が必要な感染症：アデノウイルス感染症（咽頭結膜熱）、腸管出血性大腸菌感染症、細菌性赤痢など

3 マダニ、蚊が媒介する感染症に気をつけよう！

マダニ、蚊を介してうつる感染症があります。

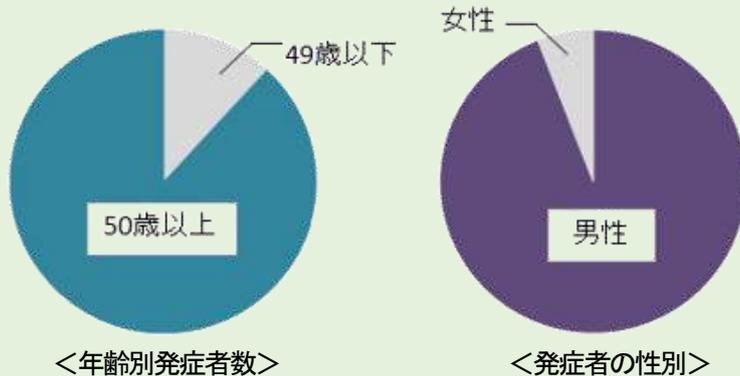
- 用心で身を守ろう！
 - 虫よけ剤でバリアー：虫除け剤を使おう
 - 服でバリアー：畑や山林に出かけるときは、肌の露出が少ない服装にしよう
- 発生源をなくそう！（水たまり除去・清掃、下草刈り）

例：植木鉢の皿、雨除けのシート、古タイヤ、雨ざらしの用具、ビン・缶・ペットボトル、排水溝風通しの悪いやぶ・草むら



注意が必要な感染症：デング熱、ジカウイルス感染症（ジカ熱）、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）

草刈り、工事、水回りの清掃・整備などで大量の粉じん（ホコリ）に接する技術者の方へ
レジオネラ症、レジオネラ肺炎にご注意ください。



グラフ：県北地区 過去5年間の発生状況



レジオネラ菌は、もともとは土の中に存在し、アメーバの体内で増えます。

・・・こんなところにいます；

→ 土ほこり、空調設備の汚れ、浴槽の配管に長い間たまっていたお湯（ヌメリ）

これらが、舞い上がり、はじけ飛ぶ時に吸い込んで感染します。

- 粉塵、ミストが大量に発生するような作業（園芸や工事作業）の際にはマスクをしよう！
- 浴槽や風呂水、池や加湿器などの水はきちんと管理しよう！

実際にかかった人の話・・・

『最初は熱中症かと思った。我慢して治るものじゃないですね。』

『自分では大丈夫だと思い、病院まで車を運転していこうとしたら朦朧としてきてしまった。』

重症化すると、重い肺炎になり、人工呼吸器が必要になる人もいます。治療が難しくなることがあります。

疲れたら、無理をしないでくださいね！！

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/e54/system/desaki/desaki/kenhoku-index.html>

ホームページからダウンロードできます。 検索... 県北健康福祉センター センターからのお知らせ

